



フュエルセイバーが 軽油・灯油・A重油・バイオディーゼルの 燃費を改善!

15%~30%超

の燃料削減効果事例（裏面記載）

燃費削減の秘密は、UFB技術の効果的実装にあります

① フュエルセイバーで燃料をUFB処理します

UFB（ウルトラファインバブル処理）することにより、燃料クラスターが微細化し一時的に燃料の動粘度が低下します。

バイパス配管で
UFB処理部に燃料供給

UFB処理部



※写真は、FS02 AC200V型

② 燃料噴射時の液滴が微細化します



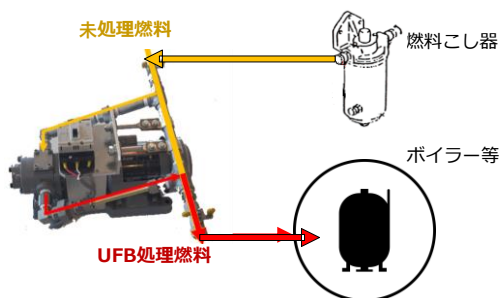
クラスターの微細化と動粘度の低下により噴霧した燃料液滴が微細化。比表面積の増加により、燃焼性が改善します。

③ 燃焼効率が改善！

完全燃焼しやすくなり、新品時ボイラー・エンジン等の燃費性能に近づきます。

所有のボイラー等をそのまま活用できる「後付け装着方式」

フュエルセイバーは、燃料タンクとボイラー・ディーゼルエンジン等との間に接続します（ボイラー等の改造は不要）



フュエルセイバーは燃料のバイパスルートを持っています。万が一故障しても、ボイラー・ディーゼルエンジン等には問題なく燃料が供給されます。ボイラー・ディーゼルエンジン等を停止させることはありません。

※ 燃料に空気などを混入させないのでガソリンスタンドで給油した燃料がそのまま使えます。しかも、負荷がかかった運転時(積載量が大い時、登坂時)にトルク低下を起こしません(エマルジョン燃料との違い)。

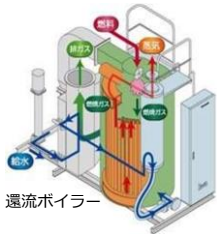
対象燃料は、軽油・バイオディーゼル燃料・灯油・A重油 です

電源の異なる 2 タイプがあります

FS02 DC24V	FS02 AC200V
バッテリーなど直流電源（24V）を利用するタイプです。	三相交流電源（200V）を利用するタイプです。
トラック・バス・建設機械などで利用できます。	船舶・工場（ボイラー）などで利用できます。
  D 212mm × W 410mm × H 137mm (本体, コックを除く) 推奨燃料消費量 210L/h以下 消費電力160W (最大240W) 本体重量13kg, コントロールボックス重量1kg	 D 267mm × W 390mm × H 210mm (コックを除く) 推奨燃料消費量 300L/h以下 消費電力240W 本体重量20kg
対象油種は、軽油・A重油・灯油	

<実証事例①> 温泉施設のボイラーでの燃費改善事例

場所：山梨県 石和温泉のホテル 客室19室・大型露天風呂あり
対象装置：井戸水を温水にして供給する用途の温水ボイラー。
燃料はA重油。
期間：2022年5月1日～4日(期間中は全室満室)
実証条件：同じボイラーを使用して
 フェュエルセイバー オンで2日間 (5月1日・2日)
 オフで2日間 (5月3日・4日)で燃費を比較。
検証期間中は満室だったので、給湯温度、温水供給量は同等。



FS稼働	月 日	最高気温	1日あたりの 燃料消費量	期間中の 燃料消費量
FS稼働 (ON)	5月1日	16℃	224L	403L
	5月2日	20℃	179L	
FS停止 (OFF)	5月3日	22℃	351L	603L
	5月4日	26℃	252L	

【結果】
・全室満室であり温水供給量に大きな変化はない。
・気温が高い時はボイラーの燃料消費も少なくなる。
・燃料使用量を比較した結果、気温が低く燃料をより多く消費するはずのFSオンの期間で33.2%の燃費削減効果が得られました。

33.2%の
燃費削減効果

<実証事例②> 定期運行バスでの燃費・排ガス改善

対象：ベトナムハノイの定期運行の大型バス
ディーゼル 排気量 7.6L 270馬力
試験：30日間ずつ、同じ路線を走行しての比較実験
期間：2018年12月25日～2019年3月2日
電源：FS02 DC24V

燃費 データ	総走行距離 (km)	燃料消費量 (kg)	走行 1 kmあたりの 燃料消費量 (g/ 1 km)
非使用	2440.8	985.76	404
FS使用	2442.6	785.7	321
燃費改善 効果			20.5%
排ガス データ	CO (mg/Nmi)	Sox (mg/Nmi)	Nox (mg/Nmi)
非使用	438	51	165
FS使用	275	43	136
排ガス 改善率	37.2%	15.7%	17.6%



お断り データの削減結果を保証するものではありません。機器の状況、使用状態、環境要因により異なる結果となります。